

80古きに聞く

荒川の本流であったびん沼は、河川改修で河跡湖となり、調節池の建設で再び水が流れるようになった。年を経く、川の形態は変わってきている。びん沼のほとりに住み、長くこの川とともに生活し、「治水翁」斎藤祐美の一族とも交友のある中嶋貞雄さん（天理教幸宮分教会会長）にお話をうかがった。

—中嶋さんはおいくつですか。

中嶋 大正15年生まれ、88歳です。

—先祖からずっとこちらですか。

中嶋 ずっと土着しており、私で9代目です。このあたりは荒川の沿岸で新田区域ですから、250〜260年くらいしか歴史がないんです。

移り変わるびん沼の姿

昔はここは下新田と呼ばれていました。

—すぐとなりに荒川が流れていたわけですね。

中嶋 今はびん沼ですが、元の荒川です。荒川のへりで、荒川が生活の水みたいなのだったわけです。川べりは、少し高かったので、

尺も4尺も土を盛って建てたようです。

—農業をしていたのですか。

中嶋 このあたりは全部農家です。うちもそうでした。

—教会を作ったのは。

中嶋 昭和11年。父が初代です。今でも農家もしています。

そこに住んだのが最初です。屋敷は、地面からさらに3

—中嶋さんが知っているのは改修後の荒川ですね。

中嶋 （改修事業は）ちやうど私の生まれ

た頃ですね。

大正と昭和の境ごろに堤防も完成して、こちらの川を堰き止めて、新しい川に流したので。

—それ以前の大水について

は、お父さんなどから昔の話聞かれていますか。

中嶋 明治の43年とかの大きな水の時、うちは村では一番高台ですが、それでも座敷の上に3尺くらい水が来たと聞いています。低い家は屋根まで浸かったという話です。

—沼になつてからは。

中嶋 川の流れは変わったのですが、沼から（荒川本流へ）落ちるところの水門を作るのが昭和5年くらいまでかかったんです。

そのため昭和3年に大きな洪水がありました。それ以降は、大きな洪水はなくなっています。

—洪水がなくなったのは、斎藤祐美さんのおかげということになりますね。

中嶋 洪水の被害を受けずにいられるということはありがたいことです。地元では斎藤さんに感謝しています。

—中嶋さんと斎藤家の関係

りは。

中嶋 うちの祖父が祐美さんと同じ世代になります。祐美さんのお子さんが馬宮村の第1回の公選村長で、うちの父は助役で一緒にやっていた。

—斎藤家は今は。

中嶋 祐美さんのお孫さんは亡くなり、今はひ孫の祐助さんという方がおられます。

—墓前祭を開いているのですか。

中嶋 毎年12月に何回かやっていたのですが、最近途絶えていますね。

—斎藤祐美さんに関する活動は、中嶋さんがリーダーになつていらっしゃるのですか。

中嶋 ここは塚本町で、祐美さんのお宅は飯田新田というところなのですが、私が公民館長をやらせていただいたこともあり、いろいろ活動してきました。ただ、私も年をとりました。

—これだけ大きな仕事をなさつた方なので、尊敬し、伝えていかなくてはいけないと思います。

—昼間の渡しと祐美さんとの関係があるのですか。

—

—

—



中嶋さん

—堰き止めて、新しい川に流したので。

—それ以前の大水について

—

中嶋 昼間の渡しの近くに家康公をまつた社があって、そのお堂の脇に

樺の木があったそうです。岩槻から川越に行く街道の道筋でその目印になったくらい大きな木です。祐美さんの選挙資金が足りなくて、村でも百姓ばかりで出す人もいなくて、とうとうその樺の木を切つて、資金にしています。う話が残っています。

—中嶋さんにとってびん沼の思い出は。

中嶋 元は本流で、それが止められて沼になったわけですから、私たちの子供のころは

さいたま市だが 買い物はふじみ野へ

きれいな水で、魚もたくさんいました。池のまわり

に漁師の方が大勢住み着いて、投網で寒鰯を獲っていましたね。—自分でも魚を。

中嶋 置き針を置いて、鰯とかナマズとか。釣りもやりました。昔は、川岸が崩れないように竹を植えたので、川へりは竹やぶでした。今はなくなりましたが。

—ここはさいたま市ですが、昔は荒川の向こう岸でしたが、今は反対側に取り残された形になりました。

中嶋

それ



中嶋さんが作成した河川改修前の地図

でもまわりの自然は変わっていません。それに最近では車で買い物も行くので、不便だとか寂しいか

せんね。

—買い物は大宮ですか。

中嶋 いや、みなこちらです。ふじみ野か上福岡です。大宮の駅までは10キロありますし、治水橋を渡って行くのは大変です。ふじみ野駅なら10分で行きます。行政は向う岸へ行かなければなりません。

—学校はこちら側にあるのですか。

中嶋 学校は馬宮西小学校1校なんです。生徒が70人くらい。今は戸数が約400戸ですが、昔は今の3分の1くらいでした。生徒は150人くらいいました。100人超えるくらいでもないなと思います。

—釣り人が多いですね。

中嶋 周り中に車を止められる道がありますからね。車の見えるところで釣りができるというのが釣り人にとっては結構な話ではないでしょうか。太公望にとって最高の場所だと思います。村の方では、道路に車を置かれて迷惑はしていますが、でもみなさんマナーを知っているので、問題がおきることはないですね。

1

◇

もうすぐ90歳になるうかという中嶋さんだが、さすがに地域のリーダーであり、教会も運営し、かくしやくとして

永くびん沼のほとりに暮らし、川から沼への変化を見てきた。河川改修で洪水の被害から開放されたことは素直に喜んではいる。ただそれだけではない。地域の歴史が移り行き、それを受け入れ、対応して生きていく、人間のはかなさとかくましさのようなものがうかがわれた。

(金子 豊治郎)